

令和3年度第3回 鹿児島市行政改革推進委員会 概要録

日時：令和3年9月29日（水）10:30～11:20

場所：市役所本館2階特別会議室

委員意見、事務局回答	
1	<p>○ 「2(2)ICTの進展」に「市民にとってもっと便利で住みよいまちになるよう」という表現が追加されているが、少し抽象的だなと感じる。また、「市民にとってもっと便利で」という言葉と、後にある「市民の利便性の向上」が重複した表現になっており、少し引っかかる。</p> <p>→ ICTの進展が何に繋がるのかということ、市民にとってもっと便利で住みよいまちになるよう、でまず大きくお示しをして、行政が主体的に行うこととして、「利便性の向上や自治体業務の効率化を図る」と整理したところだが、預からせていただきたい。</p>
2	<p>○ 主要な論点を網羅して、バランスの取れた内容に仕上がっている。</p>
3	<p>○ 「3(2)推進体制」に「成果や課題等について市民と共有しながら」と追加されたが、非常に重要な箇所かと思う。行政に対する期待や関心が高まっており、例えばこの会議の結論等も、分かりやすく、趣旨が伝わるよう、広報に努めていただけるとありがたい。</p>
4	<p>○ 「4(4)②データの安心・安全な利活用の推進」に「市民のICTリテラシー向上を図る」というところがあるが、非常に丁寧に書かれている他の部分に比べて、少し上から目線みたいなニュアンスも感じられるので、リテラシーを高めたい市民への支援、市民へ寄り添って背中を押していくようなニュアンスの方がいいかなと感じた。</p>
5	<p>○ 人口減少や気候変動など、喫緊で重要な課題を乗り越えていくには人の力が重要で、その意味では、一般行政の職員や現業の職員、会計年度任用職員と言われる非正規の方々、この方々全てが人材育成の対象になるべきであると思う。スキルアップもだが、能力を引き出す、十分に発揮してもらおうといった形ができていかないと、これからの社会を乗り切っていけない、人も集まらないと思う。大切な「人」をどう生かしていくかということを進めていただければと思う。</p>
6	<p>○ 企業と連携する場合、一方的に行政の支出が減ればいいという話ではなく、社会が良くなっていかなければいけないので、行政にとっても、受ける企業もしくは投資をする企業、企業で働く従業員の方にとっても良くないといけない。その視点も持っていただき、社会的な影響を十分考慮して進めていただきたい。</p>
7	<p>○ 意見を踏まえて、分かりやすくコンパクトに、これまでの流れが追加されて良かったと思う。おそらくここに記載されたこれまでの取組というのは、これまでになかった取組が進んだということだったり、インパクトに残ったようなことを選んでいくかと思うので、そういう流れも親近感をもって見る事ができた。</p>
8	<p>○ 今後何か市の大きな都市計画に関わるようなものを作るときに、市民の皆さんがびっくりするようなタイミングで出たりすると、市民が愛するものにならないので、情報を出す際は、より早く、より開かれ、また、計画段階で市民が参画できたり意見がより良く反映されたりする仕組みを作っていただくと、市がそこまでお金をかさなくても、民間の力で維持され、人が集う場所になるというような、良い循環が生まれる気がする。そういう方向性になっていただけたら嬉しい。</p>
9	<p>○ 色々な意見が取り入れられ見やすく、初めて読んだ方たちも、この内容ならすっと入ってくるという内容になっていると思う。</p>
10	<p>○ 質の高い行政サービスが必ずしも必要なのか、市民の立場から言えば、「分かりやすい行政サービス」というのがすごく大事じゃないかと、少し思った。</p>
11	<p>○ 人の力というのは本当に大事で、これからは行政と民間とが連携して、能力がある人材を活用して行って、色々協力しながらやっていただければと思う。</p>
12	<p>○ ニュースなどを見ていると横文字が多い。この資料は、後ろに用語解説があり、とても分かりやすいが、高齢者の方や横文字が苦手な方は、どうしてもすっと入ってこないと思う。例えば説明が必要な用語に括弧書きで意味を小さく添えるなどすると、もっと分かりやすくなると思った。</p>
13	<p>○ 前回出た意見が素案に反映されていて、P4の「成果や課題等について市民と共有しながら」という言葉がとても印象に残ったが、実際に市民と共有がうまくできていくと、市の色々な施策において、効果も上がっていくと思うし、この部分はとても大切だなというのを感じた。</p>